



大分県立竹田高等学校
関東同窓会報
第37号

発行者・会長 用正靖彦
編集者・委員長 田部修士
発行所・関東同窓会事務局
〒245-0016
横浜市泉区和泉町4384-2
電話 045-803-5677

<http://www.geocities.jp/kantohtaketa/>

春の幹事会協議事項報告

幹事長 松 良 修 二 (昭34年卒)

米国のサブプライムローン問題に端を発した大型不況の波は欧州、アジアにも波及し、日本も戦後最大といわれる不況が危惧されていますが、先の見えない不安定な状況にあってこそ、人の輪と絆を維持させることの大切さを感じます。

昨年10月から本年3月までの関東同窓会の活動要旨を以下にご報告致します。

修学旅行支援

母校の要請にもとづき、今年度も昨年度に続き竹高2年生による東京修学旅行の支援を行いました。修学旅行参加生徒196名が6名から30名の班に分かれ、昨年12月3日に早稲田大学、学習院大学、御茶の水女



東京証券取引所にて

子大など11大学を、翌12月4日には積水ハウスギヤノン、丸紅、住友化学、日本パーカライジング等17企業を訪問しました。関東同窓会からは有志十名が引率の先生が足りない2大学7

春の幹事会報告

企業の引率を支援しました。引率支援同窓生は5頁別表①の通りです。本紙を借りて本件のご支援に感謝申し上げます。

春の定例幹事会が3月24日役員・当番幹事計34名出席の下アルカディア市ヶ谷で開催、以下の事項が承認されました。

(一) 役員改選について
規約に基づき役員改選が審議され、副会長古庄幸一氏の退任、副幹事長加藤興史氏の副会長就任、名簿担当倉本正博氏の副幹事長兼任、その他の役員は全員留任することが承認されました。

(二) 総会・懇親会について
第23回総会・懇親会は、6月27日午前11時30分より九段のグランドホテルで開催されます。懇親会は、当番幹事(42年卒、52年卒)の皆さんの企画により行われますが、昨年のNHK紅白歌合戦でミスターチルドレン



幹事会会場にて

と共演したストリングス・ナカノによる弦楽奏の演奏が予定されています。初夏のひと時、華麗な調べを一緒に楽しみたいと思います。ご期待ください。多数の皆様のご出席をお待ちしております。

で前年に比して26名(28口)増加しました。一方、維持会費の未納者は前年比30%増の129名となっております。関東同窓会の会員総数は現在2,175名ですが、維持会員はその2割に留まっております。維持会費は同窓会活動の推進に貴重な財源です。事情ご賢察の上、一人でも多くの人が維持会員として加入されることを切にお願い致します。なお、現在、学年幹事を担当して頂いている方々は別紙、5頁別表②の通りです。本件に対する学年幹事の皆様のご協力をお願い致します。

○平成20年度会計決算(概算)
平成20年度の収支予測について総会収支、維持会費収支に分けて説明がありました。

○平成20年度会計決算(概算)
平成20年度の収支予測について総会収支、維持会費収支に分けて説明がありました。
本年3月末までの収支実績が確定後、監事の監査を受け、第23回総会で承認を得ることとする旨の報告があり、満場一致で承認されました。

竹田高校修学旅行特集

修学旅行での企業訪問 について(お礼)

大分県立竹田高等学校
校長 上村 俊一

師走をむかえ、あわただしい日をお過ごしのことと拝察いたします。

さて、このたびの東京への修学旅行におきましては、お忙しい中、本校2年生のために貴重なお時間を割いていただき誠にありがとうございました。おかげさまで大学・企業訪問を中心とした修学旅行も、多くの感動と発見と満足感を持って、無事に終了することができました。このような修学旅行とすることができましたのも、ひとえに皆様の周到な準備の賜物だと深く感謝いたしております。

当日は、とても丁寧で分かりやすい説明や案内をして頂いたことに対しても、心よりお礼を申し上げます。また、今回の企画に対してご

尽力くださいました、他の職員の方々にもくれぐれもよろしくお伝えくだされば幸いです。

なお、同封した文書は、生徒が企業への訪問に関して感謝の意を込めて書いたものです。なにおんにも指導が行き届かず、失礼な言葉などもあるかとは思いますが、生徒の偽り無い正直な気持ちをそのままお伝えした方がよいと考え、そのままにしている部分もあります。伝わりにくいこともあるかとは思いますが、ご容赦ください。取り急ぎ略儀ながら修学旅行での本校生徒の受け入れに対するお礼の言葉とさせていただきます。

修学旅行での引率支援 について(お礼)

2学年主任 谷口 博昭

このたびの東京への修学旅行におきましては、多大なるご支援ありがとうございました。

おかげさまで大学・企業訪問を中心とした修学旅行も、多くの感動と発見と満足感を持って、無事に終了することができました。このような修学旅行とすることができましたのも、ひとえに関東同窓会の諸先輩方の緻密な引率計画や下見、当日朝早くからの万全の引率の賜物だと深く感謝いたしております。

今回の修学旅行を通して、生徒は多くのことを学びました。特に、九州や大分県という狭い視野でしか物事を見ていなかった生徒にとって、関東で活躍している先輩方がいらつしやるということを実感できたのは、今後の人生を考える上でも貴重な経験だったと考えます。また、実際に企業や大学で、



働いている方々や、大学の先生や学生と話が出来た事など面白い刺激になったようです。これから、生徒一人ひとりが自分の進路開拓に向けてさらに努力していくこととなります。どうかこれからもご指導、ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

修学旅行を通して

2年5組 鷺司 亮子

今回の修学旅行は、私達竹田校の2年生にとって、大きな実りあるものだったと思います。初めて東京に行く人も多く、企業訪問・大学訪問のための計画を立て、東京のことを調べれば調べるほど、東京が日本の中心であることを強く感じ、大きな期待と不安を胸に、この修学旅行は始まりました。

まず1日目は、大分空港から羽田空港へと向かいました。空港へ降り立つと、そこは大分とは全く違う独特の雰囲気があり、少し緊張したことを今も覚えていています。バスに乗り、私達は上野へ向かい、アメ横や上野動物園などを回りました。

その後、劇団四季のライオンキングを観劇しました。迫力ある演奏と、緻密に練られたシナリオに感動し、思い出に残る夜となりました。

2日目は、早稲田大学を訪問しました。早稲田大学といえばラグビーや野球などのスポーツのイメージが強いですが、キャンパス内はとても静かで、たくさんの方々が印象的でした。在学生の案内で、最先端の科学技術を扱う研究所や授業風景を見せていただき、大きな刺激を受けました。今回、実際に大学を見学したことで、私達一人ひとりが自分の進路目標を再確認することが出来たと思います。

3日目は、楽しみにしていた企業訪問です。関東同窓会の方々に引率をしていただき、お忙しい中、私達のために貴重な時間を割いていただき、とても感謝しています。

4日目は、修学旅行のメインイベントであるデイズニードで、小雨の中で観たパレードは、良い思い出になりました。5日目は、お台場を散策し、午後飛行機で大分へ帰りました。

こうして修学旅行を振り返ると、様々な経験を得る事が出来

ました。この経験を旅行の思い出だけに終わらせず、将来へと活かしていきたいです。

また、今回の旅行は、先生方、関東同窓会及び卒業生の方々のご協力がなければ、成功を収めることは出来なかったと思います。多くの人達とのつながりを忘れずにこれからも「竹田高校生」として、勉強、部活動に励んでいきたいです。

2年2組18番 佐藤しずか

印象が一番残っているのは、東京はアスファルトばかりで熱を反射して気温が上昇し、とても暑くなるので、水を吸収して溜めるといふブロックを開発されたというお話です。実際に実験をしていたら、ブロックが水を吸収しているのを見ることができ、うれしかったです。そのブロックが竹田市の広瀬神社にもあるとお話を聞いた時は、とても驚きました。

他にも、昔、実際に株取り引きがされていた場所を見学させていただいたり、仕事をさせている風景を見学させていただきました。ありがとうございます。

「企業はどのような人材を求めるのですか」という質問の「解答で、「熱意・情意・誠意」



の「三意」を持った人ということを知り、自分も「三意」を持った人に少しでも近づけるように頑張らなさいといけなさいと思えました。

2年5組32番 林 晃人

今回の企業訪問は、私たち高校生にとって進路の面や、就職の面でも、とても役に立つものになったと思います。今、私たちは進路について悩んでいる時期にあります。今回の企業訪問を、進路を考える上で生かしていければいいなと思いました。今回は、私たちをお迎えいただき誠にありがとうございます。

た。

2年3組6番 一水 雄太

東京証券取引所を見学させていただき、二度と行くことのないかもしれない場所に入ることができました。テレビで見える光景がすぐ目の前にあったので少し興奮してしまいました。

また、私たちの質問にも丁寧に答えてくださってありがとうございます。普段知ることのないことも教えていただいたので、今後自分たちが進路学習を進めていく中で重要になってくるものだと思います。

この度は、お忙しい中、本当にありがとうございます。

企業・大学への

お礼状からの一部抜粋

○今回の企業訪問を終えて、こ

れから自分が進む道の先が少し見えたような気がしました。それは、この企業訪問で分からないことが減ったからだと思います。1つの会社のことを詳しく知ること、これからの進路に関すること



や、どこの大学にするかということも、だいぶ絞り込むことが出来ました。貴社のような世界中で仕事をするような会社に就きたいと今回思いました。今回、これが一番得たことだと思います。そのためにも今から勉強します。

○辻先輩は、竹田高校の生徒であることを誇りに思っており、私とおっしゃりましたが、私にはそれがあまり理解出来ませんでした。しかし、辻先輩の高校時代の話や現在のお気持ちなどを聞いて、竹田高校を誇りに思えてきました。

○テストについてのこと、1点1点を大事にするということが大切だということが私の中でとても印象深い言葉でした。

た。字が汚くて点数が引かれたという人もいたということも聞きました。3点の差でも何万人もの差がつかます。私はこれまで1点を軽く考えていました。そのために確実に点が取れるところも落としてきました。しかし、この大学研修のおかげでテストに対する気持ちが変わりました。1点1点を確実に取り、大学へ合格出来るよう頑張ります。受験について竹田高校の先生方も同じ事を言っていたので、いかに日頃の先生の言葉が大切であるかということがわかりました。

○「学部・学科ではなく、どのようにしてその会社で学んだ事を活かすか」という言葉をいただいたとき、学ぶことの意味をいつもとは違ったように考えるようになりまし。いつもなら、「大学・専門学校に行くために勉強する」というように考えていました。ですが、あの言葉を聞いたとき、「会社にただはいるための勉強では意味がないのだ」という考えが出来る、今からの勉強の仕方を変えていくきっかけをもらうことが出来ました。

燃える!!

クラス会・同期会

化学部OBによる

「田北先生を囲む会」が開催されました!



松良 修二(昭34年卒)

上京して

田北 和義

百笑・千書・万歩を日課に誼々の日々の中に松良修二氏より上京の案内を受け、十月に照準を合わせて、健康管理につとめ、体力向上を心掛けると共に心はずむ日々となった。

昨年10月14日原宿にて、昭和30年代に化学部を率いてくださった田北和義先生を囲む会が開催されました。
鹿児島県や大分県に在住のOB会も参加、5年ぶりの会でしたので、懐かしさもひとしおでした。

先生は極めてお元気で、上京の際、自宅から熊本空港までマイカーで来られたそうです。紅一点は特別ゲストの徳田昌子さんです。
次回は二年後に竹田近郷で開催される予定です。

驚歎する。長生きしてよかったな!

こんな機会を与えてくれた教え子達の暖かい心に触れ教師冥利に尽きると手を合わせる。二年後の再会を楽しみに新たな目標に向って頑張りたい。

平成20年

竹田会総会・懇親会

田部 修士(昭42年卒)

平成20年11月21日午後6時より、私学会館・アルカディア市谷において竹田会が開催された。冒頭、司会の志温野さんの開会宣言に続いて物故者への黙祷が捧げられた。

最初に里見会長より挨拶があった。「毎年地元竹楽のすぐ後に竹田会を開催している。こここのところメディアで竹田がよく紹介され、記事を楽しみにしている。最近では、川端康成の小説に出てくる竹田駅舎と駅裏の崖の写真が大変美しく印象に残りました。」

今年は大分団体が開催されて、天皇皇后両陛下も来られた。竹田では鉄腕上野選手が来るということでソフトボールに期待が集まったが雨の為に試合が流れ、全チームが優勝したそうです。プロ野球では内川選手が首位打者をとった。サッカーのナビ

スコップでトリニータが優勝した。年末には12月/22日から25日まで日本橋と常盤橋で竹田の竹灯籠が再現されます。ご都合のつく方は是非お出かけ下さい。日本橋の欄干にある獅子と麒麟の像は竹田市出身で朝倉文夫さんのご兄弟・渡辺長男さんが作られたものです。

アメリカでは黒人大統領が誕生、世の中は変革を求めています。竹田も今は大変ご苦労されていますが、観光資源も多きうずれ地方への風も吹き発展することを願っています。」

続いて、来賓として牧市長がいつもの元気で竹田の近況報告を含めご挨拶された。
「先週の竹楽では3千人のボランティアに頑張っていた。NHKで様子が放映される予定です。
農業の活性化を目指して野菜



里見会長挨拶

つくりを振興している。竹田の特産ギフトにトマトジュース、ドブロック(荒城の櫻)を加え販売促進に挑戦している。竹田市は観光など事業を進める上で大変財政が厳しい。是非ふるさと納税をよろしく願います。」

甲斐商工会議所会頭は、「来年からNHKのスペシャルドラマ「坂の上の雲」が始まる。それに便乗し竹田市のPRをおこなう為に1月24日に廣瀬武夫顕彰会を立ち上げます。石原慎太郎氏、廣瀬知事に名誉会長をお願いしている。欧陽フォーラムでは2年後に竹田が廣瀬武夫でノミネートしている。皆さんのご支援を頼みます。」と挨拶があり、続いて竹田から状況の来賓を紹介された。

最後に、首藤県議による乾杯の音頭、「ボジョレーヌーボとともに上京しました。里見会長初め東京の方々に感謝しています。世の中大変厳しい状況になっていますが、アメリカでは初の黒人大統領が誕生した。竹田も夢を持って乾杯したい。I have a dream!」で懇談会が始まった。
懇談の最中に、PHPの寺田様より本日の特別ゲストの紹介があった。

中島啓さんの「ウラルの風」になって「廣瀬武夫物語」の出版に当たり一言として、「東京一極主義でなく地方で自慢できる先人を世の中に紹介することは

① 修学旅行引率支援者 関東同窓会

○2007年12月
 神田 清 (S) 26
 用正 靖彦 (S) 30
 松良 邦夫 (S) 32
 加藤 興史 (S) 33
 菅 紀代巳 (S) 34
 桜井 忠輔 (S) 32
 松井 修二 (S) 34
 麻生 三郎 (S) 35
 緒方 義信 (S) 38
 井出 得郎 (S) 41

○2008年12月
 用正 靖彦
 松良 邦夫
 菅 紀代巳
 桜井 忠輔
 松良 修二
 緒方 義信
 安藤 紀 (S) 39
 井出 得郎
 倉本 正博 (S) 44
 志賀 卓史 (S) 52
 山部 光男 (S) 53

② 学年幹事の皆さん

(卒年)	(名 前)	(卒年)	(名 前)	(卒年)	(名 前)	(卒年)	(名 前)
昭26	神田 清	34	市村 真一	43	工藤 和博	52	後藤 祐治
26	濱口 鈴子	35	平手 肇	44	伊藤 忠明	52	志賀 卓史
27	津田 美枝	36	吉村 征二郎	44	鈴木 薫	53	山部 光男
28	益永 三生	37	桃溪 謙次郎	45	小代 基昭	53	島津 金吾
28	工藤 玲子	37	落合 淑	46	日高 慶紀	54	三尾 まゆみ
29	山口 雄三	38	続 勝三郎	46	保坂 斎子	55	板井 浩司
30	西 誠	39	安藤 紀	47	小池 健治	55	山口 満子
30	眞田 政子	39	加藤 弘明	47	後藤 和典	59	大石 美紀
31	上田 武男	40	田中 寿人	48	戸次 幸二	平2	友永 裕二
31	高橋 房枝	40	大坂 好美	48	山村 恵美子	2	後藤 公一郎
32	阿南 暉	41	後藤 彰二	49	辻村 淳一	3	波多野 寛昭
32	村尾 イミ子	41	栗田 信子	49	筑紫 美津子	9	古井 吉和
33	土屋 健児	42	児玉 幹生	50	橋爪 裕二	11	山口 慶明
33	立川 美知	42	染井 洋	50	阿南 久美子	11	井筒 剛司
34	服部 恭一	43	甲斐 文夫	51	板井 健	12	後藤 真太郎
						13	山口 明

「後藤宗昭同窓会長を 偲んで」



後藤宗昭同窓会長が亡くなられたことご存知ですか？1月26日早朝突然かかってきた電話に言葉を失いました。昨年11月の竹田会で、ロビーをこ子息と楽しそうに歩かれていた姿を拝見しており、ご病氣という話も伺っておりませんでしたので、事故にでも遭われたのかと思つたほどです。

平成15年に急逝された土井平吉前同窓会長の後を引き受けられ、母校の110周年記念事業では、校長、PTA会長、学林会会長他の方々と協力し、記念事業を成功に導かれました。

毎年実施しております関東同窓会にはご都合の許す限りご出席を頂いており、その都度熱い激励を賜りました。この気持ちをはきつと後輩の方々に引き継がれると思っております。故人のこれまでの活躍に感謝申し上げますと共に、心からご冥福をお祈り申し上げます。

用正 靖彦(昭30年卒)

すばらしい。廣瀬武夫物語は、若い人にも、ビジネスマンにも力と夢を抱かせるとてもすばらしい作品です。NHKのスペシャルドラマのタイミングに合わせて出版します。」

中島啓さんより、物語は3年前から取り掛かって完成された経緯の報告とともに物語に登場するエピソードをいくつか披露された。

ロシア留学中に荒城の月を演奏し、日本人が作曲した曲かとロシア人を驚かせた。

清水次郎長との関わり(親分から戦に望む心構えを教わった)

ロシア人もしり込みする犬そりでの真冬のシベリア単独横断を好意により譲り受けた頑丈な毛皮のコートで取行した。



留学前のたけや旅館の女将さんとの約束(女将が冗談のつもりで強請ったロシア綿の真っ白な反物を土産に持参、さりげなく渡した。武夫が去った後に包みを空けた女将は驚愕し、それを一生の宝にした。)

等々が披露され、「真の平和主義者である同郷の廣瀬武夫を自信を持って心の支えにして下さい」としめくられた。

最後に、山本英次さん(42年卒)が関東同窓会でも披露された「M I K A S A N O S O N G」を同窓生と合唱、続いて生野さん(32年卒)によるピアノ伴奏で、一同来賓とともに肩を組んで美しき竹田、荒城の月を合唱した。

瞬間に2時間が過ぎ、佐藤映之前関東同窓会会長が来年の再開を約束し会を締め括られた。



「廣瀬武夫物語」刊行のお知らせ

作家 櫻田 啓

同窓会のみならずには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

構想から三年、いよいよ本年五月私の拙著「廣瀬武夫物語」がPHPより発行される運びとなりました。この間、廣瀬神社の例祭や竹田会での講演会、廣瀬武夫顕彰会設立総会におけるパネリストなどの機会を頂き、皆さまから身に余る励ましのお言葉を頂戴し、その上貴重な資料のご提供まで頂きました。ここに厚くお礼を申し上げます。

廣瀬武夫中佐は、申し上げるまでもなく竹田市が生んだ世界に誇る偉大な軍人でありますが、人物について検証してみますと、じつに多彩な人間像を持っています。私はこれを「廣瀬武夫五つの人間像」と定義づけました。

廣瀬武夫が①ロシア研究家であり、かつ②柔道家③文芸家④冒険家⑤平和愛好家であったという「人間廣瀬」の偉大な側面であります。これらの人間像についてはあまり知られていないようではありますが、廣瀬中佐が36年という短い生涯の中でこれほどの偉業を遺していることに

驚嘆し、感動いたしました。

おそらく、「ロシアにおける廣瀬武夫」の著者である東京大学の島田謙二先生も、同じ思いを抱いたのではないでしょう。誤解を恐れず申し上げるならば、廣瀬武夫は明治における坂本龍馬であった。私はそう考えております。

父親の廣瀬重武さんは坂本龍馬とともに奔走した幕末の志士であり、おそらく幼少のころより坂本龍馬について父親からの人物像や生き方について多くを学んでいたに違いありません。

旅順口閉塞戦のおり、廣瀬は「もし東郷閣下が許してくれるなら、自分は単身旅順に上陸し、敵の大將アレキセーエフと面談し、日露の和睦をやってみせる」と主張しています。まさに、大猿の仲であった薩摩と長州に「薩長同盟」を結ばせた坂本龍馬と同じ思想であります。

残念ながら、東京万世橋の駅頭に建っていた廣瀬武夫の銅像は、戦後のどさくさの中で撤去されてしまいました。撤去命令を下したのは誰か、諸説あり定かではありませんが、後日銅像製作者の渡辺長男さん(朝倉文

夫さんの兄)の自宅をGHQの将校が訪ね「像を撤去したのは米軍の指示ではなく、日本政府の独断行為です。あの像は軍、戦犯とは関係なく、上官と部下との愛情のシンボルとして尊敬していた」こう語ったと言います。

時代は過ぎ、今秋からNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」が放映されます。こんな時代であるからこそ、人間廣瀬の生き方に学ぶべきことは多いと思います。拙著のご購読とあわせ、放映をお楽しみいただければ幸いに存じます。

年の瀬の日本橋に竹灯籠が点灯!

企画副委員長 鈴木 敬子 (S51年卒)



日本橋・常盤橋公園ではネオ屋台も登場し、大分県竹田市のイベント「竹楽」で利用した竹灯籠の風景が通り行く人々の心を和ませました。

これは2008年12月22日、25日の「年の瀬日本橋2008」ECCO EDO日本橋グリーンプロジェクトの「人と人、人と自然のつながりを大切に」の心で築いていく循環型社会を目指す「企画趣旨に賛同した我が故郷、竹田市が参加をしたものです。関東竹田高校同窓会も有志がボランティアで参加しました。

昨秋、故郷の「竹楽」では15万人が訪れました。竹田市は荒廃する里山、竹林を保全し、新たな取り組みとして、武家屋敷や古刹が点在する城下町の道脇や観光スポットに2万本の竹灯籠を設置し町並みのライトアップをしました。幻想的な一時を楽しむ人々が、毎年この時期竹田市を訪れます。

12月22日は東京・日本橋のたもとの「滝の広場」に設置された「竹田物産テント」で牧市長や竹田観光ツーリズム協会の佐藤京子さん、後藤真志さんと一緒に「かはす」、「荒城の月」、「竹キャンドル」などを販売しました。

この日は明るい時間だったため、興味は示すものの食べ物以外はさっぱり売れず。小池百合子さん、芹洋子さんや白川日銀総裁らが出席の日銀本店中庭で

の点灯式の頃から冷たい雨が降り始め、折角並べた竹灯籠も残念ながら18時過ぎには撤収となりました。

24日は天候に恵まれ、日本橋の下に並んだ竹点籠や常盤橋のミニ竹楽を見てきた人々が「ミニチュアキャンドル」を買いに売店に立ち寄り、「かはす」や銘菓「荒城の月」も飛ぶように売れました。

25日は雨こそ降らなかったが強風の影響で、ボランティアスタッフが度々消える灯籠に火を灯して回り、その消えそうな幽玄の美を見た人々が「竹灯籠」を買いに来て下さり、心配された在庫残りもなく早い時間で完売となりました。

おりしも忘年会シーズン、酔った勢いの会社員が同じ九州人だからと「竹楽の記念切手」やグッズをたくさん買って立ち去った後、また、部下を引き連れ売り上げに協力してくれる等、楽しいエピソードもたくさんありま

した。年の瀬の日本橋に郷土訛りの行き交った暖かいひとときでした。



ふるさと名所紀行

田部 修士(昭42年卒)

豊後国緒方郷の英雄緒方三郎惟栄

故郷紀行では、長湯く久住く萩とつないできました。今回は緒方町で歴史上最も活躍した英雄、豊後武士団の頭領として大活躍し、怖き者の末、と平家を怯えさせてその名を轟かせた緒方三郎惟栄に纏わる話です。

〈岡城と緒方三郎惟栄〉

岡城は緒方三郎惟栄が、頼朝の追悼から逃れる源義経を迎えるために築城したと伝承されています。緒方三郎惟栄(1143~1199)は、中世に豊後国大野荘緒方郷の荘園領主として活躍した武将で、緒方郷を拠点に勢力を拡大し豊後武士団の頭領として源平合戦でも活躍しています。

文化元年(1804) 田能村竹田らによって編纂された『豊後国志』には、文治元年(1185年)源義経が九州に逃れようとした時、緒方惟栄に合力を依頼、これを受けた惟栄は岡(天神山)に築城し義経の南向を待ったと記されています。

しかし、文治元年は、十月四日に惟栄らが非常の赦免(※1)に遇い十一月二日義経が院に奏請して豊後武士(惟栄)らの支援を求めた年である。義経からの支援要請で直ちに院中に召されたところ、彼らは京都にいたことになる。惟栄は院中で命を伝えられ十二月三日には大物浦に向かって都を發つていくことから、築城はそれ以前か惟栄による築城自体を疑問視する考えもある。

しかし、当時の直入郡は朽網郷以外は惟栄の子の直入三郎の所領であったと思われるので、都からこの地に築城を指示することは不可能でなかった。私としてはこの説に固執しロマンを大事にしたい考えです。

惟栄は、義経を先導して大物浦に下り、兵船に乗船したが、出港間も無く暴風雨に会い難破した。惟栄は捕えられ、翌年上野国沼田荘に配流された。義経は豊後下りを断念しも北に進路を変えたため、残念ながらこの計画が実現することはなかった。

た。その後、建武年中(1333~38)大野荘志賀村の地頭志賀貞朝が旧壁を修めて拡大し、初めて岡城と称したそうです。天正14年(1586)にはわずか1000人で3万7千の島津軍を撃退した難攻不落の名城です。また、「中川家御年譜」によれば、文禄三年(1594)に豊臣秀吉の命により、播磨国(兵庫県)三木城主・中川秀成公が岡藩へ入封、現存する城郭が築かれていきました。

※1非常の赦免

元暦元年(1184)七月六日、平家に対する反感から惟栄兄弟は宇佐宮焼き打ちの重大事件を起こし朝廷より配流の官符が下された。ところが、義経・頼朝の仲が決定的破局を迎える段階になって、平家の大宰府追い落とし、源範頼軍の渡海援助等の功績により特赦が発令された。

〈平家物語・第8巻・姥岳伝説(神婚伝説)〉

緒方三郎惟栄は、豊後大神氏の始祖・大神惟基から5代目に当りますが、緒方郷領主となった惟栄は大神でなく緒方三郎惟栄と名乗ったそうです。尾平飯山を資金源とし、海部の水軍とも連携し現在の大分県の半分以上を勢力範囲としていたようで、とにかく強く大蛇の末裔とか言われました。さて、ご先祖の大神惟基は、平家物語の8巻(織環の巻)に登場しますが、大蛇(姥岳大明神)の化身である若者が美しい宇多姫(華の本)のところに通い詰めて生まれてきたと伝承されています。姫様の一目だけでもとの懇願でその姿を露にした大蛇は、「あなたのお腹に自分の種を宿した。近く男子が生まれる。子々孫々守護してやるので子供を大事にせよ」と言い残して身を隠されたそうです。この姥岳伝説は神原山中の穴森神社と清川村の宇田枝神社に残されており、両神社の祠が繋がっているとの伝承もあります。是非機会を見つけて尋ねてみて下さい。

また、原尻の滝を挟んで一ノ宮(仲哀天皇・父)二ノ宮(応神天皇・子)三ノ宮(神宮皇后・母)

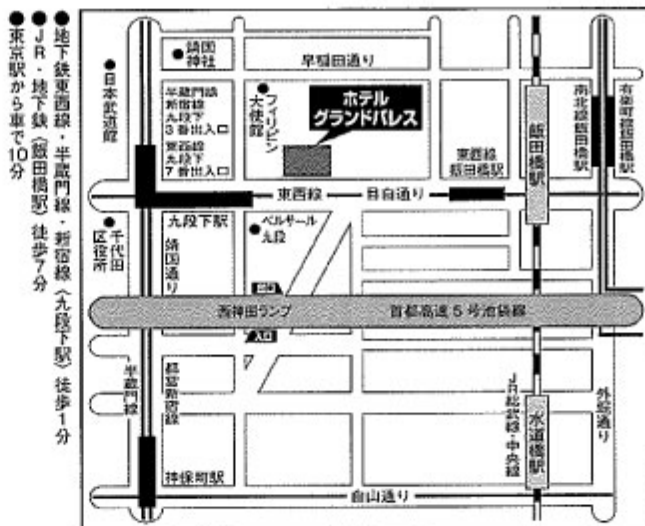
の3社がありますが、惟栄が一度に3本の矢を射落した順番に建立したと豪傑らしい伝承があり、その親子が年に一度会う日が、川越し祭り。として今に伝えられている(毎年10月)そうです。

(資料提供:竹田市文化財課・佐伯治さん)



第23回竹田高校関東同窓会 総会と懇親会のご案内

1. 日時 平成21年6月27日(土)
11時00分受付開始
11時30分総会・懇親会
1. 場所 グランドパレスホテル 3階 白樺の間
千代田区飯田橋1-1-1
電話03-3264-1111
1. 会費 8,000円



〔懇親会のご案内〕

今年の懇親会は、当番幹事(S43年、S53年卒)が、①弦楽コンサート②竹田の土産特売店③景品抽選会を企画しました。

—弦楽ミニコンサート—

ストリングス ナカノ、STRINGS NAKANO
華麗な5名による弦楽奏、桐朋学園大の同窓生で構成されている室内弦楽グループです。リーダーの中野徳子さんは、4歳からピアノを、17歳からコントラバスを初め、国立音大附属高校卒業、桐朋学園大音楽部卒業後、同大学研究科終了。卒業後は四家卵大(しかうだい)ストリングスメンバーとして、Mr.Children、レミオロメン、Sayuなどの楽曲に参加。僕らの音楽、ミュージックフェア、ミュージックステーションなど数多く出演。



中野徳子さん

次回の

竹田会

11月20日(金)
アルカディア市ヶ谷にて
午後6時より

〔お詫びと訂正〕

前回の臥牛36号6頁の「クラス会・同期会・県人会」の記事の中で九階会と在京大分県人会の写真が逆に掲載されたことを、お詫び申し上げます。

詩歌・文芸

旧友礼讃

(五言古語)

河野 祐司(昭16年卒)

旧友懐古集

旧友懐古して集う

世紀過半遷

世紀は半ばを過ぎてうつれり

思師語往事

師しのびて往事語れば

血還少小然

血は少小にかえりて燃えん

思徳

然燃えんと同

献友一杯酒

友に献ず一杯の酒

万言溢無垠

まんげんあふれて限りなし

酒浸五臓熱

酒は五臓に浸みて熱く

情震六腑新

情は六腑をゆるがして新たなり

根に限角意

情友情のこと

訃報

慎んでお知らせ申し上げ、心からご冥福をお祈り致します。

物故者御芳名

- 伊東 七五三八 先生(関東同窓会相談役)
平成20年12月5日没 昭和20年卒
- 後藤 宗昭 先生(竹田高校同窓会会長)
平成21年1月26日没 昭和20年卒
- 武藤 省三 様
平成21年1月27日没 昭和11年卒
- 小堀 正一 様
平成21年1月29日没 昭和26年卒

※事務局へ連絡を頂いた方々を掲載しております。

あとがき

この会報は会員皆様方の情報交換の場として編集しています。皆様方の投稿を期待しています。委員一同

連絡先

〒103-0027
東京都中央区日本橋1-15-1
日本パーカライジング
田部 修士 宛
(広報委員長)
TEL 03-3278-4307
FAX 03-3278-4309
mailto:stanabe@parker.co.jp